

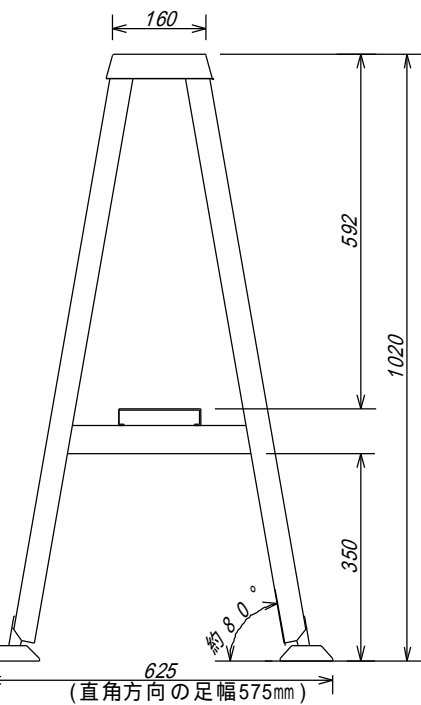
# Nagara Roof Tower NRT-100

## 注意書

ルーフターを上手に設置し、より安全にご使用いただくために次の点にご注意下さい。

各 부품の端面が鋭くなっていますので、怪我に十分ご注意ください。

1. アンテナの搭載はタワーに合ったもので「欲張らず」「無理をせず」過度の荷重がかからないように配慮して下さい。
2. 設置したルーフタワーの強さは、マストパイプの径や長さ、支線の張り方の良否あるいは方法によって、大きく変わります。無理をせずに安全性を最優先に考えて下さい。
3. 長いマストパイプを使用して、地上高を高くするときは、通常より小さいアンテナを搭載し、マストパイプ中央部より上からも支線を張って下さい。(あまり長いマストパイプの場合、ベアリングやローターに負荷がかかり故障の原因になります。)
4. 支線は年に1~2度、張り具合を調整し、サビや傷など保守を心がけて下さい。(特に建設直後は支線の緩みが起こることが多いので、数日後に必ず点検して下さい。)
5. ルーフタワーは支線を均一に張るために出来る限り屋根の中央に置き、角度及び張力を均一にして下さい。
6. 屋根にかかる荷重を分散したり、足元の状態を良くする為に30mm位の板厚の足場板をルーフタワーの脚部に置き、木ねじ等で、自在足を固定すると良好です。瓦屋根は必ず板を敷いて下さい。陸屋根等で板を敷かない場合は足元からも支線を張ると安全です。
7. 陸屋根(平屋根)など平坦な所に設置する場合はベアリングベースだけでなく脚柱中央又は、足元からも支線を張って固定し、脚部が移動しないようにして下さい。
8. ルーフタワーの建設は高所作業となりますので取付に際しては十分にご注意ください。



仕様 : 寸法は上図参照

重量 : 5.7 kg

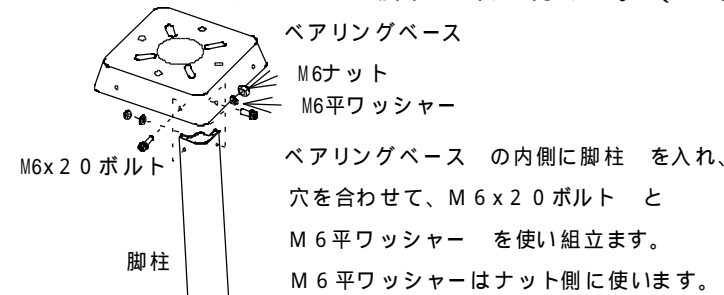
最大マスト径 : 63 mm

## 組立

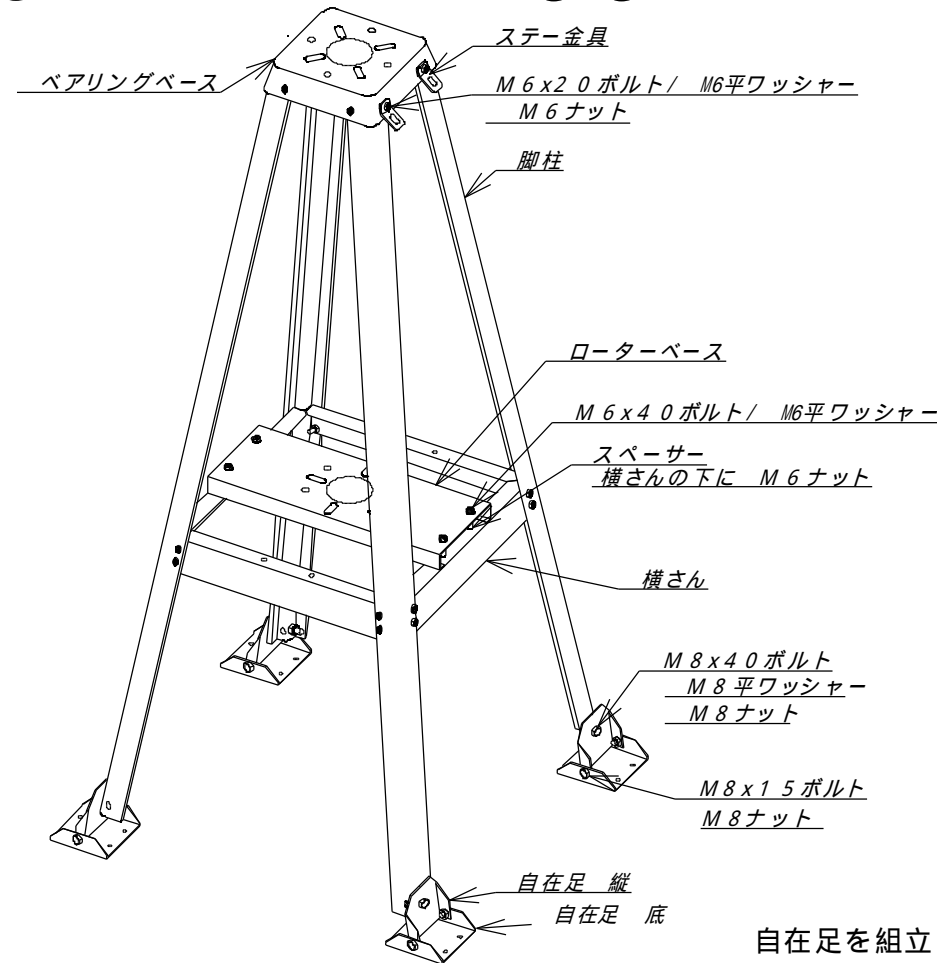
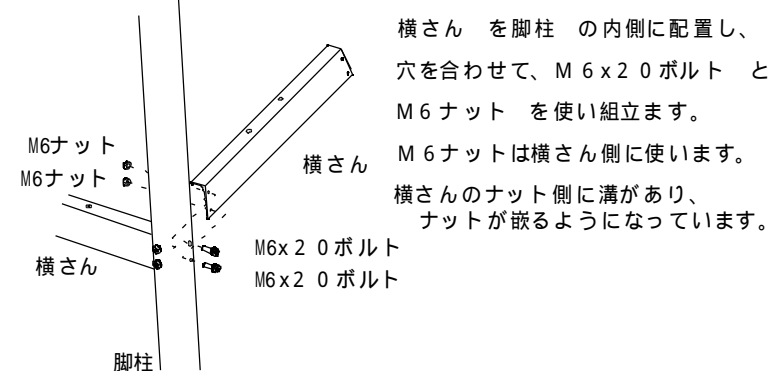
組立の際は各ボルト、ナットを強く締めないでガタガタの状態ですべてを組み上げて下さい。

全体を組み上げた後、平坦な場所でボルト、ナットの本締めを行って下さい。

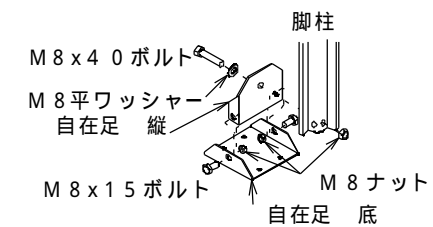
### ベアリングベースに脚柱を取り付ける。(4本とも)



### 横さんを脚柱に取り付ける。(4本とも)



### 自在足を組立る。(4組)



図のように自在足を組み立てます。

組上がった自在足を設置する場所の傾斜を考えて、「自在足 底」が斜面に合うように方向を考えて、脚柱に取り付けて下さい。

### 本締めと確認

組立たルーフタワーを水平な場所に置いて、各ネジを本締めします。

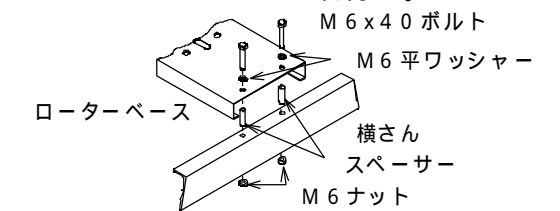
自在足は設置場所に置いたときに傾斜に合わせて調整して下さい。

締め忘れの無いように2度3度確認をして下さい。

部品の確認 : 組立を始める前に部品がそろっていることを確認して下さい。

ベアリングベース	1個	鉄成型品垂鉛メッキ
脚柱(1000mm)	4本	アルミ型材
横さん	4本	アルミ型材
ローターベース	1個	垂鉛引き鉄板折り曲げ
ステ一金具	4個	鉄クロメートメッキ
スペーサー(25mm)	4個	鉄 ラスパート処理
M6x20ボルト	25個(予備1個)	鉄 ラスパート処理
M6ナット	29個(予備1個)	鉄 ラスパート処理
M6平ワッシャー	13個(予備1個)	ステンレス
M6x40ボルト	4個	鉄 ラスパート処理
自在足 底	4個	垂鉛引き鉄板折り曲げ
自在足 縦	4個	垂鉛引き鉄板折り曲げ
M8x15ボルト	8個	鉄 ラスパート処理
M8x40ボルト	4個	鉄 ラスパート処理
M8ナット	12個	鉄 ラスパート処理
M8平ワッシャー	4個	ステンレス

### ローターベースを取付る。



ローターベースを取り付けます。どちらの方向にも取付出来ます。

### ステ一金具を取付る(4個)



ルーフタワーの設置場所と支線を張る位置を確認して、該当するベアリングベースに取付てあるM6ボルトを外し、ステ一金具を図のように取り付けます。

**NAGARA**

株式会社ナガラ電子工業

〒527-0074 滋賀県東近江市市辺町2876-2

TEL 0748-20-1650 FAX 0748-20-1651

ホームページ <http://www.nagara-ant.com>